

卒業式では、藤井幸一代表理事のご挨拶、福山恵太郎学長の「学びを礎に実践の中で力を發揮してほしい」との力強いお言葉を胸に刻みました。努力賞には

卒業式では、藤井幸一代表理事のご挨拶、福山恵太郎学長の「学びを礎に実践の中で力を發揮してほしい」との力強いお言葉を胸に刻みました。努力賞には

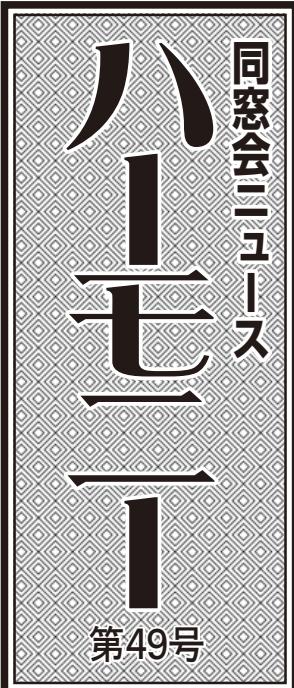
卒業式から9月の卒業までの約9ヶ月間、第73期は「経営の本質」や「人を生かす組織づくり」について学びを深めてきました。グループディスカッショ

ンでは、異業種の仲間と語り合うことで多様な考え方や価値観に触れ、視野と知見を大きく広げることができました。この仲間との出会いこそが、同友会大学で得た最も大きな財産であると感じています。

卒業式では、藤井幸一代表理事のご挨拶、福山恵太郎学長の「学びを礎に実践の中で力を發揮してほしい」との力強いお言葉を胸に刻みました。努力賞には

2025年9月29日、第73期同友会大学の卒業式が、同友会大久保記念・共育ホールにて執り行われました。当時は、講師・役員の皆様をはじめ、多くの経営者の方々にご臨席いただきました。温かな雰囲気の中で節目の日を迎えることができました。僭越ながら、私の視点からご報告申し上げます。

第73期卒業式報告～共に学んだ仲間との絆を糧に～



2025年12月10日

●発行所●

一般社団法人
北海道中小企業家同友会
同友会大学同窓会

札幌市東区北6条東4丁目1-7デアウネスビル13階
TEL(011)702-3411 FAX(011)702-9573
http://www.hokkaido.doyu.jp

（73期卒・和光技研（株） 吉田 哲也）

が無事に卒業を迎えることができました。共に学び励まし合った仲間との絆は、私たち73期の誇りです。ここで得た学びとつながりを糧に、これからも地域と社会に貢献できる企業づくり・人づくりを目指してまいります。

（株）シンクシステムズ 小椋俊秀会長、敢闘賞には5名の仲間が選ばれました。答辞で小椋会長が語られた「従業員の働き



30名で始まった第73期のうち、28名が無事に卒業を迎えることができました。共に学び励まし合った仲間との絆は、私たち73期の誇りです。ここで得た学びとつながりを糧に、これからも地域と社会に貢献できる企業づくり・人づくりを目指してまいります。

この7ヶ月間で得た学びや出会いは、今後の人生や仕事において大きな財産になると感じました。この度は、貴重な経験をさせていただいた同友会大学事務局の皆様、講師の方々、第73期の皆様、そして背中を押して送り出して頂いた会社の皆様に心から感謝しております。ありがとうございました。

卒業生の声◆「視野を広げ、共に学び合うことで感じます。講義では、経済や科学、法律、教育、地域社会の在り方など多岐にわたるテーマを学び、自身の知識や視野を大きく広げることができます。特に印象的であったのは、異業種の方や異なる立場の方々と共にディスカッションを行う中で、多様な価値観や考え方触れられたことです。日頃の業務だけでは得られない視点を取り入れることで、自分の考え方の偏りに気づき、より柔軟に物事を捉える力が養われたと実感しております。グループディスカッションでは、他者の意見を尊重しながら自分の意見を整理し、議論を進める難しさも感じつつ、立場や経験の異なる方々との意見交換を通じて、相互理解や共に学んでいくことの大切さを学びました。

同友会大学での学びは、こうした変化を受け止め、自らの軸を磨くための貴重な訓練だったと感じます。

卒業生の声◆「視野を広げ、共に学び合うことで感じます。講義では、経済や科学、法律、教育、地域社会の在り方など多岐にわたるテーマを学び、自身の知識や視野を大きく広げることができます。特に印象的であったのは、異業種の方や異なる立場の方々と共にディスカッションを行う中で、多様な価値観や考え方触れられたことです。日頃の業務だけでは得られない視点を取り入れることで、自分の考え方の偏りに気づき、より柔軟に物事を捉える力が養われたと実感しております。グループディスカッションでは、他者の意見を尊重しながら自分の意見を整理し、議論を進める難しさも感じつつ、立場や経験の異なる方々との意見交換を通じて、相互理解や共に学んでいくことの大切さを学びました。

（73期卒・サンマルコ食品（株） 似内 菜月）

この7ヶ月間で得た学びや出会いは、今後の人生や仕事において大きな財産になると感じました。この度は、貴重な経験をさせていただいた同友会大学事務局の皆様、講師の方々、第73期の皆様、そして背中を押して送り出して頂いた会社の皆様に心から感謝しております。ありがとうございました。

卒業式では、藤井幸一代表理事のご挨拶、福山恵太郎学長の「学びを礎に実践の中で力を發揮してほしい」との力強いお言葉を胸に刻みました。努力賞には

（株）シンクシステムズ 小椋俊秀会長、敢闘賞には5名の仲間が選ばれました。答辞で小椋会長が語られた「従業員の働き

（73期卒・共通Fロジ（株） 八尋 創造）

同友会大学での学びは、こうした変化を受け止め、自らの軸を磨くための貴重な訓練だったと感じます。

卒業生の声◆「考え方続ける力」

一年は、「知ること」よりも「考え続けること」の意味を学ぶ時間だったよう

ともに学び、悩み、語り合った仲間のこれから挑戦に、心からの敬意とエールを送ります。

